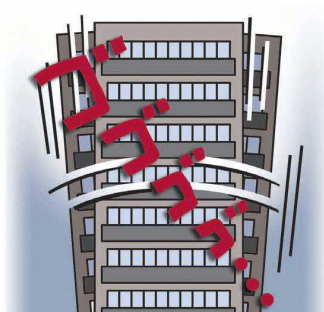


☆高層マンション世帯用地震対策のしおり

●地震の特徴

大地震の発生時は「長周期地震動」という揺れが発生しやすく、この揺れは一般的に、高層マンション（11階建て以上）では、長く大きくなる傾向があります。その結果、マンション全体が、ゆっくりと長く大きく揺れることがあり、ピアノやタンスといった重く大きな家具類でさえ、移動や倒れたりして、ケガや住居被害につながります。



●地震発生後の注意点

大地震が発生すると、ライフライン（電気・ガス・上水道・下水道・通信）の停止が高確率で起こります。

停電になるとエレベーターは使えなくなり、上層階の住民は、階段の使用を余儀なくされます。配給物資の受取り等も大変になります。また、建物入口のセキュリティも使えなくなります。

特に困るのが上下水道の停止です。過去事例の中では、上層階の住民が排水管の破損を知らずに、トイレで水を流し、下階で汚水が漏れたといったことなどがあり、設備の安全点検が終わるまでは使用を控えましょう。また、送水ポンプの停電や水道が停止した場合、備蓄の水がないと1ℓ＝1Kgの水の運搬をしないといけません。

●被災後の復旧

大地震でマンションに被害が発生すると、その復旧時に度々思わぬ争いが発生します。それは、修繕に係る意思決定や費用負担の合意形成です。業者と住民、住民同士などで意見や見解の対立が長期化し、復旧に思わぬ時間を要することがあります。保険の加入や事前にある程度の合意形成も必要です。

☆在宅避難生活

高層マンションは、一般的に建物倒壊の危険は少なく、大地震後も生活を維

持できる空間を確保できると言われています。そのため、自宅での生活ができない人を除き、避難所ではなく「在宅避難」をしましょう。避難所生活は、限られた空間で、多くの避難者と暮らすことになり、新型コロナウイルス感染症等の感染リスクが伴い、また、プライバシーの問題を筆頭に、多くのストレスを生みます。そのため、住み慣れた自宅での生活を継続できるよう在宅避難に備えましょう。ただし、安全が確保できないような状況なら、避難所へ避難しましょう。



●在宅避難への備え

①食料・水は最低3日分、目標1週間分

水は、飲料用と生活用が必要です。食料は、自分好みのもので良いので、日持ちが良く、味に飽きがこないものを備えましょう。備蓄は、少数品目を一括購入して何年も保存するのではなく、普段の生活の中で、少し多めに買って、日々循環させながら備蓄すると良いでしょう。



②在宅避難に必要な物

備蓄食料の他に、防災用品、医療用品、生活用品、個別に必要なものを備えましょう。また、持ち出し用も準備しておきましょう。

☐ 食料	☐ 飲料水	☐ ラジオ	☐ 懐中電灯
☐ 電池	☐ 軍手	☐ ヘルメット	☐ ウェットティッシュ
☐ マスク	☐ 消毒液	☐ 体温計	☐ ビニールシート
☐ 毛布	☐ 防寒着	☐ 簡易トイレ	☐ カセットコンロ
☐ 常備薬	☐ ライター	☐ ガスボンベ	☐ メガネ・コンタクトレンズ
☐ おむつ	☐ 生理用品	☐ ミルク	☐ ペットフード

③在宅避難場所の確保

在宅避難をするためには、大地震が起こっても、自宅内に避難空間を確保しなければなりません。そのため、家具等の転倒防止をしておきましょう。ベッド回りなど身の危険となる場所以外にも、玄関や通路などが塞がってしまわないように家具を配置したり、転倒防止器具の設置をしましょう。



④トイレの問題は重要

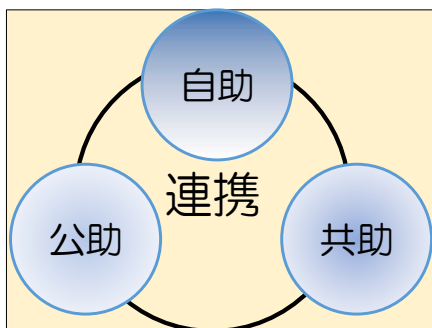
水道が止まったり、下水管に破損があるなどしたときはトイレが使用できません。衛生環境を維持するためにも、災害用の簡易トイレなどを準備しておきましょう。

⑤在宅避難が進むと隣近所との協力が必要に

在宅避難が進むと隣近所で情報の共有を図ったり、マンションの施設や設備の共用物の使い方など協力していくことが必要になってきます。同じマンション内で死傷者がでないように、いざというときに助け合えるように、普段から共助の関係を築いていきましょう。

☆マンションとしての備え

入居世帯個別での備え以外に、マンション全体で大地震に備えておくことも必要です。管理組合等を通じて自主防災組織を立ち上げ、マンション全体で大地震に備えましょう。地震によりライフラインが停止した場合の対応、住民世帯の安否確認、配給物資の受取り、被災世帯への支援などを全体で協力していける組織を作りましょう。



☆自主防災組織を作ったら

マンション単位で防災組織を作り、入居世帯を対象に防災訓練を実施しましょう。訓練に参加して、隣近所さんとお話して、大地震に備えましょう。

☆災害情報の入手

長久手市では、大規模災害時には、市の災害対応情報や避難者への支援情報等を発信する「長久手市安心メール」を開設しています。このメールは、平時には市内の防犯防災情報等を配信しています。1万人を超える市民が登録していますので、未登録の方は登録をお願いします。



＜安心メール登録方法＞

- ①QRコードを読み取るか、「anshin-add@ai.e-msg.jp」に空メールを送信
- ②登録手続きのメールが配信されてくるので、指示に従って、メール内のURL（http:…）へ接続
- ③配信希望の情報を選択（イベントは、市内で開催されるイベント情報を配信します。）し、登録
- ④登録完了メールが送信されてきて、登録完了



※メールの受信制限をしている場合は、「e-msg.jp」のドメインからの受信を許可する設定に変更してから実施してください。

※登録は無料ですが、メールの受信など通信にかかる費用は自己負担です。

★発行元（令和3年2月）

長久手市くらし文化部安心安全課

長久手市岩作城の内60番地1

電話0561-56-0611

※この「しおり」は、長久手市ホームページからダウンロードできます。

https://www.city.nagakute.lg.jp/soshiki/kurashibunkabu/anshinanzanka/1/2/bosai_category/saigai/14294.html